

令和6年1月15日

関市教育委員会 様

関市学校規模適正化審議会
会長 江馬 諭

関市学校規模適正化について（答申）

令和5年5月24日付け教総第23号にて諮問のありました標記の件につきまして、当審議会において、5回にわたり慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、答申の趣旨を十分踏まえるとともに、審議の過程で出された意見についても考慮して、学校規模適正化計画を策定されますよう要望します。

記

<以下別紙>

1. 関市学校規模適正化基本方針

- (1)子どもたちの多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける。
個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける。
ふるさと教育や地域との関りを通して、社会性を身に付ける。
これらを学校教育で実現する観点から、「関市学校規模適正化計画」を策定し、望ましい学校規模の適正化を進める。
- (2)国の適正規模・適正配置の要件をそのまま関市に当てはめることは、山間部など地理的要因等により、望ましい通学距離、通学時間を超える場合があるため困難であると考ええる。
- (3)関市の適正規模・適正配置の要件としては、市内一律で決めるのではなく、地理的要因等などを加味し、地域の状況に応じ、検討を進める。
- (4)既存の学校施設を活用することを基本とし、既存の学校施設の規模が不足する場合は、施設拡充により対応することも検討する。
- (5)関市の児童生徒数の増減により、必要に応じ計画は見直しを行う。

2. 学校規模適正化実施

(1) 学校再編基準

小学校は複式学級、中学校は単クラス（学年35人以下）が見込まれる年度までの学校再編実施が望ましいが、学校施設等が整っていることを前提とする。

(2) 再編形態

小学校同士、中学校同士の学校再編を原則とするが、地理的要因等により、小学校同士、中学校同士の学校再編では適正化が難しい地域もある。そのような地域には、小学校と中学校で再編する「義務教育学校」を採用する。

(3) 通学手段

再編に伴う遠距離通学の緩和を図るため、スクールバス等を運行する。

(4) 学校選択制

学校選択制については、従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できる「隣接区域選択制」を市全域で採用する。

また、保護者や地域の希望により「小規模特認校制」を小学校が採用できるようにする。

(5) その他

学校再編基準になっていない小規模校においても、積極的に適正規模になるように検討していく。

※国の学校適正規模・適正配置の要件（望ましい規模）

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。

○小学校・・・クラス替えができる1学年2学級以上

○中学校・・・免許外指導をなくす9学級以上（教諭：14名）

○通学距離・・・小4km、中6km 約1時間以内（スクールバス）

～文科省：H27 公立小学校・中学校の適正規模・

適正配置等に関する手引～

※義務教育学校

一人の校長と一つの教職員組織が9年間の学校教育目標を決め、一貫した教育を行う、2016年から制度化された新たな学校種。修業年限は9年間で、小中学校の学習指導要領を準用した教育課程を実施。施設の一体・分離を問わず設置可能。

※隣接区域選択制

居住地によって、入学する学校を指定される「学区制」に対し、自由に選べる「学校選択制」制度の1つ。従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学できる。ただし、学校施設の状況、就学予定者の人数等を踏まえ、受入可能人数を設定した上で、児童生徒のみで安全に通学できることを条件とする。

※小規模特認校制

「学校選択制」制度の1つ。少人数の小学校で、自然環境の活用や地域住民との交流など、特色ある学校経営を行っている学校を教育委員会が指定する。保護者が、安全な交通手段により児童生徒を通学させることができ、通学に要する経費を負担できることで、他の通学区域からの通学を許可する制度。

3. 学校規模適正化取組

児童生徒数…令和5年4月1日住民基本台帳による

(1)板取川中学校区

板取川中・・・単学級 洞戸小・・・複式学級予定

板取小・・・複式学級

	学年人数（人）						1学級						複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
板取川中	9	4	7	7	9	13	5	15	16	15	23	21	13	16	15
洞戸小	8	3	6	4	8	9	5	13	12	14	18	18			
板取小	1	1	1	3	1	4	0	2	4	1	5	3			

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校の再編には板取小、洞戸小に加え武芸小を加えても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。板取小と武芸小の距離は30km。中学校再編には武芸川中と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

○小中3校による義務教育学校とする。

※保護者や地域の要望があれば、小学校2校による再編を先行する。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。

○小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	44	50	57	59	54	46	36	33	27	29	23	18	20
洞戸小	80	71	61	51	45	35	38						
板取小	15	16	12	14	11	10	11						

小中学校学級数

	小中学校学級数							1学級			複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
板取川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
洞戸小	6	6	5	5	4	4	4						
板取小	3	3	3	3	3	3	3						

(2)津保川中学校区

津保川中・・・単学級 上之保小・・・複式学級
 武儀小・・・複式学級予定

	学年人数 (人)						1学級						複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
津保川中	5	4	13	11	11	10	19	15	15	26	23	22	25	26	21
武儀小	4	4	9	7	6	5	12	13	12	22	14	17			
上之保小	1	0	4	4	5	5	7	2	3	4	9	5			

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校の再編には武儀小、上之保小に加え富野小を加えても適正規模の要件を満たさない可能性が高い。上之保小と富野小の距離は17km。中学校再編には富野中と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

○小中3校による義務教育学校とする。

※保護者や地域の要望があれば、小学校2校による再編を先行する。

ただし、令和2年度に武儀小が再編しているため、小学校再編はできれば令和9年度以降が望ましい。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。

○小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

	全校児童生徒数 (人)													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
津保川中	72	73	70	71	64	56	49	44	40	32	35	28	22	
武儀小	90	78	70	55	52	43	35							
上之保小	30	30	26	26	27	25	19							

	小中学校学級数							1学級			複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
津保川中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
武儀小	6	6	6	5	5	5	4						
上之保小	4	4	4	4	3	3	3						

(3)武芸川中学校区

武芸川中・・・単学級予定

博愛小・・・単学級

武芸小・・・複式学級予定

	学年人数(人)							1学級						複式		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年	
武芸川中	18	15	24	31	33	39	35	36	44	37	55	55	53	56	47	
博愛小	16	10	14	19	22	23	23	24	28	21	38	32				
武芸小	2	5	10	12	11	16	12	12	16	16	17	23				

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには、小学校同士、博愛小、武芸小と再編しても、適正規模の要件を満たさない可能性が高い。

○小中3校による義務教育学校とする。

ただし、令和5年度に武芸小が再編しているため、小学校再編はできれば令和10年度以降が望ましい。

遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。

○小学校に小規模特認校制を採用することで、市内全域から児童が就学できる。

	全校児童生徒数(人)													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
武芸川中	156	164	163	147	136	117	115	110	107	103	88	70	57	
博愛小	166	157	141	139	125	111	104							
武芸小	96	89	83	79	73	66	56							

	小中学校学級数							1学級						複式		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17			
武芸川中	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3			
博愛小	7	7	6	6	6	6	6									
武芸小	6	6	6	6	6	6	5									

学校規模適正化答申

(4)富野中学校区

富野中・・・単学級 富野小・・・複式学級予定

	学年人数(人)															
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年	
富野中	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14	22	12	16	
富野小	4	4	4	11	17	5	9	14	7	12	18	14				

複式…複式学級は前後の学年児童数と合計して15人以下となる学年

国の適正規模にするには隣接小中学校と再編する。

○小学校再編は富岡小とする。(学校間距離 5.6 km)

○中学校再編は旭ヶ丘中とする。(学校間距離 7.9 km)

遠距離通学となる地域には、スクールバス等で対応する。

※ただし、保護者や地域の要望が強ければ、富野小は小規模特認校制を採用して当分の間、継続させる。

全校児童生徒数(人)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	50	48	54	44	37	33	30	28	31	33	32	19	12
富野小	74	65	64	63	60	50	45						

小中学校学級数

	小中学校学級数												
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
富野中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
富野小	6	6	5	5	5	4	4						

学校規模適正化答申

(5) 緑ヶ丘中学校区

- ・ 緑ヶ丘中・・・大規模校だが適正規模校に生徒数減少する予定
- ・ 安桜小・・・適正規模校
- ・ 瀬尻小・・・適正規模校
- ・ 倉知小・・・適正規模校

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
緑ヶ丘中	143	149	138	164	170	172	189	192	180	186	187	200	221	211	233
安桜小	48	60	47	60	67	67	66	72	68	76	58	95			
瀬尻小	51	41	45	55	51	41	75	50	61	65	73	71			
倉知小	57	62	60	59	74	75	61	85	63	62	68	60			

安桜小校区の前山、赤尾、稲口地区は、中学校進学先は桜ヶ丘中となっている。上記の3地区以外の安桜小校区の児童が緑ヶ丘中に進学するため、地区保護者から不満等の声が少なくない。

学校区境界を変更し、安桜小校区で進学先を緑ヶ丘中とする。桜ヶ丘小及び桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用いることとする。

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	665	632	608	573	553	558	561	553	531	506	472	451	430
安桜小	435	407	416	400	379	367	349						
瀬尻小	395	365	343	333	317	308	284						
倉知小	399	414	420	417	414	391	387						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
緑ヶ丘中	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	14	14
安桜小	15	14	14	13	13	12	12						
瀬尻小	15	14	13	13	13	13	12						
倉知小	13	14	15	15	15	14	14						

学校規模適正化答申

(6)旭ヶ丘中学校区

- ・旭ヶ丘中・・・適正規模校
- ・旭ヶ丘小・・・小規模校、1学年1クラスになる予定
- ・富岡小・・・適正規模校

学年人数（人）													1学級		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
旭ヶ丘中	78	89	83	114	91	108	119	118	122	148	119	147	127	151	129
旭ヶ丘小	30	33	30	44	33	40	55	37	52	71	47	66			
富岡小	48	56	53	70	58	68	64	81	70	77	72	81			

「隣接区域選択制」を市全域で採用することで、旭ヶ丘小の規模適正化を促すことが考えられる。

全校児童生徒数（人）													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭ヶ丘中	407	425	393	414	389	388	359	345	318	313	288	286	250
旭ヶ丘小	328	302	288	261	239	235	210						
富岡小	445	432	418	411	394	369	353						

小中学校学級数													1学級	
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
旭ヶ丘中	13	14	13	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	
旭ヶ丘小	13	13	12	11	10	9	8							
富岡小	16	15	14	13	13	12	12							

学校規模適正化答申

(7)桜ヶ丘中学校区

- ・桜ヶ丘中・・・適正規模校
- ・桜ヶ丘小・・・適正規模校
- ・南ヶ丘小・・・小規模校、1学年1クラス
- ・田原小・・・適正規模校だが小規模校に児童数減少する予定

学年人数（人）													1学級		
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
桜ヶ丘中	94	98	95	93	102	114	121	111	124	139	110	178	134	161	166
桜ヶ丘小	43	51	49	45	41	48	60	51	57	59	44	69			
南ヶ丘小	12	7	9	12	11	10	13	11	9	17	10	30			
田原小	26	26	23	26	28	45	35	34	46	46	44	53			

南ヶ丘小は再編する場合は、地域の歴史的な繋がりから、倉知小とする。
その場合に中学校の進学先は緑ヶ丘中となるが、桜ヶ丘中への通学を希望する場合は、学校選択制（隣接区域選択制）を用いることとする。

全校児童生徒数（人）													
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
桜ヶ丘中	461	473	422	427	373	374	356	346	337	309	290	286	287
桜ヶ丘小	340	319	316	302	294	294	277						
南ヶ丘小	90	70	71	66	66	62	61						
田原小	258	250	234	214	191	183	174						

小中学校学級数													1学級	
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
桜ヶ丘中	14	15	14	14	12	12	12	12	11	10	9	9	9	
桜ヶ丘小	12	12	12	12	12	12	12							
南ヶ丘小	6	6	6	6	6	6	6							
田原小	10	10	9	8	7	7	7							

学校規模適正化答申

(8) 下有知中学校区

- ・ 下有知中・・・小規模校、1学年2クラス
- ・ 下有知小・・・適正規模校

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
下有知中	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63	60	67	65
下有知小	45	48	51	47	48	60	45	57	59	67	66	63			

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	192	190	189	196	192	183	161	162	153	155	146	146	144
下有知小	357	354	336	316	308	299	299						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下有知中	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
下有知小	12	12	12	12	12	12	12						

(9) 小金田中学校区

- ・ 小金田中・・・適正規模校
- ・ 金竜小・・・大規模校だが適正規模校に児童数減少する予定

学年人数（人）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年
小金田中	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123	132	136	122
金竜小	52	49	57	62	60	78	69	82	93	108	125	123			

全校児童生徒数（人）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	390	391	380	356	326	283	244	229	207	200	179	168	158
金竜小	600	555	490	444	408	375	358						

小中学校学級数

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
小金田中	12	12	12	12	11	10	8	8	7	7	6	6	6
金竜小	20	19	17	15	14	13	13						